

平成18年9月期 第1四半期財務・業績の概況（非連結）

平成18年2月2日

会社名 **太洋物産株式会社**

(JASDAQ・コード番号 : 9 9 4 1)

(URL <http://www.taiyo-bussan.co.jp>)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長：柏原 弘

T E L : (03) 5402-8181

責任者役職・氏名 執行役員 総務部長：宮内 敏雄

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有・無

(内容) 税金費用等、一部簡便な方法を採用しております。

最近会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有・無

2. 平成18年9月期 第1四半期財務・業績の概況（平成17年10月1日～平成17年12月31日）

(1) 経営成績の進捗状況

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年9月期第1四半期	16,078	4.7	86	43.8	60	48.1	32	49.5
17年9月期第1四半期	15,359	4.2	153	-	116	-	63	-
(参考)17年9月期	63,398		218		212		366	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
18年9月期第1四半期	3	81	-	-
17年9月期第1四半期	7	55	-	-
(参考)17年9月期	43	67	-	-

(注) 1. 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率。

2. 売上高以外の項目は、17年9月期より「四半期財務・業績の概況」を開示しているため、17年9月期第1四半期における対前年同四半期増減率を記載しておりません。

[経営成績の進捗状況に関する定性的情報等]

当四半期におけるわが国経済は、企業収益の改善や設備投資の増加を背景に、個人消費についても緩やかに拡大する等、景気は着実に回復基調にありました。その中で、当社は、供給者としての役割を果たすために、顧客満足のでられる商品の開発や経営の効率化等に積極的に取り組みました。

この結果、売上高は160億78百万円（前年同期比7億19百万円増、4.7%増）と増収となりましたが、当四半期においては、一部の取扱商品において市中在庫が過剰の状況であったことなどから利益率が低下し、営業利益は86百万円（前年同期比67百万円減、43.8%減）、経常利益は60百万円（前年同期比55百万円減、48.1%減）、当四半期純利益は32百万円（前年同期比31百万円減、49.5%減）となりました。なお、当四半期の業績は、概ね当初の予想に沿った推移をいたしております。（部門別の状況は、添付書類を参照。）

(2) 財政状態の変動状況

	総 資 産	株 主 資 本	株 主 資 本 比 率	1 株 当 たり 株 主 資 本	
	百万円	百万円	%	円	銭
18 年 9 月 期 第 1 四 半 期	20,994	6,097	29.0	727	04
17 年 9 月 期 第 1 四 半 期	19,599	6,479	33.1	772	52
(参 考) 17 年 9 月 期	20,093	6,109	30.4	728	47

【キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 四半期末(期末)残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
18 年 9 月 期 第 1 四 半 期	1,287	101	1,045	429
17 年 9 月 期 第 1 四 半 期	444	6	745	507
(参 考) 17 年 9 月 期	305	30	845	773

[財政状態の変動状況に関する定性的情報等]

当四半期における現金及び現金同等物は、前事業年度末に比べ3億43百万円減少し、4億29百万円となりました。また、当四半期における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当四半期における営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期純利益を60百万円計上し、未払費用の増加4億94百万円等の収入がありましたが、たな卸資産の増加6億92百万円、仕入債務の減少6億68百万円等の支出により、12億87百万円の支出(前年同期は4億44百万円の支出)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当四半期における投資活動によるキャッシュ・フローは、投資事業組合への出資1億円の支出等により、1億1百万円の支出(前年同期は6百万円の収入)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当四半期における財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金による純収入11億円、配当金の支払による支出54百万円により、10億45百万円の収入(前年同期は7億45百万円の収入)となりました。

添付資料:(要約)四半期貸借対照表、(要約)四半期損益計算書、(要約)四半期キャッシュ・フロー計算書
四半期部門別売上高

【参 考】

[業績予想に関する定性的情報等]

当該四半期の業績は、概ね当初予想に沿った推移をいたしておりますので、中間期及び通期の業績予想につきましては、平成17年11月17日に発表いたしました「平成17年9月期 決算短信(非連結)」に記載の予想と、現在のところ変更はございません。

本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき、当社で判断したものであります。

予想に内在する様々な不確定要因や外部環境等の変化等により、実際の業績と異なる可能性がありますのでご承知おき下さい。

〔添付資料〕

1.(要約)四半期貸借対照表

(単位：千円、%)

科 目	当四半期	前年同四半期	増 減		(参考)
	平成18年9月期 第1四半期末	平成17年9月期 第1四半期末	金 額	増減率	平成17年9月期 金 額
(資産の部)					
流動資産					
現金及び預金	429,406	507,865	78,459	15.4	773,094
受取手形	291,667	340,019	48,352	14.2	580,558
売掛金	10,386,096	8,729,178	1,656,917	19.0	10,113,167
有価証券	99,950	99,950	-	-	99,950
たな卸資産	6,849,560	6,626,935	222,625	3.4	6,156,972
その他	1,121,290	1,631,119	509,829	31.3	638,970
貸倒引当金	95,000	70,000	25,000	35.7	95,000
流動資産合計	19,082,970	17,865,069	1,217,901	6.8	18,267,713
固定資産					
有形固定資産	636,023	645,715	9,691	1.5	635,308
無形固定資産	7,736	11,161	3,424	30.7	8,592
投資その他の資産	1,293,769	1,159,437	134,332	11.6	1,206,511
貸倒引当金	26,282	81,561	55,279	67.8	24,425
固定資産合計	1,911,247	1,734,751	176,495	10.2	1,825,986
資産合計	20,994,218	19,599,821	1,394,396	7.1	20,093,700
(負債の部)					
流動負債					
支払手形	1,238,182	1,080,509	157,672	14.6	970,258
買掛金	2,186,035	1,457,070	728,965	50.0	3,122,127
短期借入金	8,400,000	7,200,000	1,200,000	16.7	7,300,000
1年内返済予定長期借入金	260,000	-	260,000	-	260,000
未払費用	2,199,089	1,888,212	310,876	16.5	1,704,105
未払法人税等	7,675	43,502	35,827	82.4	5,319
その他	330,472	876,401	545,928	62.3	346,507
流動負債合計	14,621,455	12,545,696	2,075,758	16.5	13,708,319
固定負債					
長期借入金	-	260,000	260,000	100.0	-
退職給付引当金	67,986	119,492	51,505	43.1	70,413
役員退職引当金	206,925	195,175	11,750	6.0	205,188
その他	200	425	225	52.9	200
固定負債合計	275,112	575,093	299,980	52.2	275,801
負債合計	14,896,568	13,120,789	1,775,778	13.5	13,984,121
(資本の部)					
資本金	1,149,859	1,149,859	-	-	1,149,859
資本剰余金	1,111,800	1,111,800	-	-	1,111,800
利益剰余金	3,745,439	4,197,591	452,151	10.8	3,767,952
その他有価証券評価差額金	90,829	20,059	70,770	352.8	80,246
自己株式	279	279	-	-	279
資本合計	6,097,650	6,479,031	381,381	5.9	6,109,578
負債及び資本合計	20,994,218	19,599,821	1,394,396	7.1	20,093,700

2.(要約)四半期損益計算書

(単位：千円、%)

科 目	当四半期	前年同四半期	増 減		(ご参考)
	(平成18年9月期 第1四半期)	(平成17年9月期 第1四半期)	金 額	増減率	平成17年9月期 金 額
売上高	16,078,579	15,359,268	719,311	4.7	63,398,073
売上原価	15,695,455	14,812,254	883,201	6.0	61,822,612
売上総利益	383,124	547,014	163,889	30.0	1,575,460
販売費及び一般管理費	296,643	393,106	96,462	24.5	1,356,558
営業利益	86,480	153,908	67,427	43.8	218,902
営業外収益					
受取利息	130	123	6	5.2	716
受取配当金	779	585	194	33.2	1,989
受取賃貸料	1,027	1,110	82	7.4	4,766
為替差益	-	-	-	-	16,872
その他	1,360	512	847	165.3	25,736
営業外収益合計	3,297	2,331	965	41.4	50,081
営業外費用					
支払利息	11,225	10,387	838	8.1	41,159
為替差損	14,861	26,421	11,559	43.7	-
支払保証料	2,560	2,560	-	-	10,160
その他	727	574	153	26.7	5,267
営業外費用合計	29,376	39,943	10,567	26.5	56,587
経常利益	60,402	116,296	55,893	48.1	212,396
特別利益	-	-	-	-	-
特別損失	-	-	-	-	781,333
税引前四半期純利益又は当期純損失()	60,402	116,296	55,893	48.1	568,936
税金費用	28,400	52,953	24,553	46.4	202,639
四半期(当期)純利益	32,002	63,342	31,340	49.5	366,297

3.(要約)四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

区 分	当四半期	前年同四半期	(ご参考)
	〔平成18年9月期〕 〔第1四半期〕	〔平成17年9月期〕 〔第1四半期〕	平成17年9月期
	金 額	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税引前四半期純利益又は当期純損失()	60,402	116,296	568,936
減価償却費	4,849	5,788	22,587
貸倒引当金の増加額	1,857	44,163	12,026
退職給付引当金の増減額(は減少額)	2,426	7,459	41,619
役員退職引当金の増加額	1,737	1,737	11,750
受取利息及び受取配当金	925	724	4,153
支払利息	11,225	10,387	41,159
為替差損益(は益)	1,968	4,154	1,133
売上債権の増減額(は増加額)	17,286	822,083	625,490
たな卸資産の増加額	692,588	688,839	1,000,005
仕入債務の増減額(は減少額)	668,168	768,102	786,703
未払費用の増加額	494,983	277,643	93,536
その他	501,456	258,069	883,115
小 計	1,275,191	426,021	390,459
利息及び配当金の受取額	910	709	4,154
利息の支払額	11,146	10,195	40,917
法人税等の支払額	2,354	9,451	122,143
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,287,781	444,959	305,078
投資活動によるキャッシュ・フロー			
投資事業組合への出資の回収による収入	4,000	6,650	26,950
投資事業組合への出資による支出	100,000	-	-
その他	5,181	540	3,186
投資活動によるキャッシュ・フロー	101,181	6,109	30,136
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増減額	1,100,000	800,000	900,000
配当金の支払額	54,514	54,514	54,472
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,045,485	745,485	845,527
現金及び現金同等物に係る換算差額	209	1,101	177
現金及び現金同等物の増加額(又は減少額)	343,687	305,535	570,763
現金及び現金同等物の期首残高	773,094	202,330	202,330
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	429,406	507,865	773,094

4. 四半期部門別売上高

(単位：千円、%)

	当四半期 〔平成18年9月期〕 第1四半期	前年同四半期 〔平成17年9月期〕 第1四半期	増 減		(ご参考) 平成17年9月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
農 産 部	4,906,872	5,951,384	1,044,512	17.6	23,555,657
食 糧 部	8,058,872	7,010,256	1,048,615	15.0	28,155,793
生 活 産 業 部	1,455,177	1,096,313	358,863	32.7	6,540,249
産 業 機 材 部	1,657,658	1,301,314	356,343	27.4	5,146,372
合 計	16,078,579	15,359,268	719,311	4.7	63,398,073

【農 産 部】

食品用大豆（Non-GMO大豆）においては、近年、味噌・豆腐等の国内消費が低迷していることも影響し、国内の荷動きが鈍く、顧客による予定していた商品の引き取りが遅れるなど、取扱数量・売上高ともに前年同期比減少となりました。

菜種においては、安定した品質を確保し、確実に供給した結果、売上高を前年同期比増加させることができました。

この結果、売上高は49億6百万円（前年同期比10億44百万円減、17.6%減）となりました。

【食 糧 部】

牛肉においては、当四半期はオセアニア産が主で、北米産の輸入再開に伴って市場価格は年末にかけて下落いたしました。米国におけるBSEの発生以後、同地域からの輸入パイプの強化を図っていたことから、取扱数量を拡大させることができ、売上高を前年同期比伸長させることができました。

鶏肉においては、ブラジルから生肉、中国・タイから完全加熱鶏肉の輸入という状況が続きました。市場価格は、市中在庫の過剰感から下落していましたが、秋・冬商戦向けの仕入を夏場以降に積極的に行ったことが功を奏し、取扱数量を拡大させることができ、売上高を前年同期比伸ばすことができました。

この結果、売上高は80億58百万円（前年同期比10億48百万円増、15.0%増）となりました。

【生 活 産 業 部】

鉄鋼関係については、中間製品等の取り扱いを前年同期比増加させることができました。繊維関係についても、前年同期にはなかった量販店向商品が加わったことや、冬物紳士雑貨の取扱開始や原料系の市場価格が高騰したこと等も寄与し、売上高を増加させることができました。また、「韃靼（だつたん）蕎麦」やサプリメントについても積極的に営業展開いたしました。

この結果、売上高は14億55百万円（前年同期比3億58百万円増、32.7%増）となりました。

【産 業 機 材 部】

中国においては、西部大開発等の大規模なインフラ整備が行われており、それらに伴う建機需要は旺盛にあります。しかし、中国政府による金融引締政策が緩和されたものの、その影響が若干残っていることや、安全面における新規制（3C強制認証）等の影響により、売上高は前年同期比回復したものの、その伸びは限定的なものとなりました。

この結果、売上高は16億57百万円（前年同期比3億56百万円増、27.4%増）となりました。

以 上